

鶴岡工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	倫理	
科目基礎情報							
科目番号	0013		科目区分		一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		学修単位: 2		
開設学科	創造工学科 (情報コース)		対象学年		1		
開設期	後期		週時間数		2		
教科書/教材	高等学校新倫理最新版 (菅野覚明他著 清水書院刊)						
担当教員	齋藤 和久						
到達目標							
現代社会にも影響を与えている、倫理・宗教観および、それらの背景にある哲学思想の概要を理解することができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
様々な宗教の特徴を説明できる力	三大宗教や著名な民族宗教等の特徴を、何も見ずに正確に説明することができる。		仏教・キリスト教・イスラム教の教義の相違点を指摘することができる。		宗教的な考え方の特徴を、何一つ説明することができない。		
ギリシャ哲学の特徴を説明できる力	ギリシャ哲学者達の思想的特徴を何も見ずに説明することができ、かつ、哲学者間における思想的影響や相違についても説明できる。		ギリシャ哲学者達の思想的特徴を何も見ずに説明することができる。		ギリシャ哲学者達の思想的特徴を、何一つ説明することができない。		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	代表的な哲学・宗教の概観。						
授業の進め方・方法	座学・講義形式。担当教員が哲学者や思想家の業績、諸宗教の特徴等について、黒板に要点をまとめながら説明する。						
注意点	少なくとも板書事項は記録しておき、各自で授業内容を再整理できるようつとめる。学修単位であるため、課題提出を求める。“総合評価”は、学年末試験60%、提出課題30%、授業の出席状況や態度10%の割合で行う。						
事前・事後学習、オフィスアワー							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	ギリシャ哲学成立の背景		文化の多様性を認識し、互いの文化を尊重することの大切さを理解できる。		
		2週	自然哲学の誕生とソフィスト		文化の多様性を認識し、互いの文化を尊重することの大切さを理解できる。		
		3週	ソクラテスの思想		文化の多様性を認識し、互いの文化を尊重することの大切さを理解できる。		
		4週	プラトン、アリストテレスの思想		文化の多様性を認識し、互いの文化を尊重することの大切さを理解できる。		
		5週	宗教とは何か		文化の多様性を認識し、互いの文化を尊重することの大切さを理解できる。		
		6週	ユダヤ・キリスト・イスラム教の成立事情		文化の多様性を認識し、互いの文化を尊重することの大切さを理解できる。		
		7週	イスラム教・キリスト教の特徴		文化の多様性を認識し、互いの文化を尊重することの大切さを理解できる。		
		8週	宗教が社会に与えた影響		文化の多様性を認識し、互いの文化を尊重することの大切さを理解できる。		
	4thQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	社会	地理歴史的分野	世界の資源、産業の分布や動向の概要を説明できる。		3	
			公民的分野	人間の生涯における青年期の意義と自己形成の課題を理解し、これまでの哲学者や先人の考え方を手掛かりにして、自己の生き方および他者と共に生きていくことの重要性について考察できる。		3	
				自己が主体的に参画していく社会について、基本的人権や民主主義などの基本原理を理解し、基礎的な政治・法・経済のしくみを説明できる。		3	
			現代社会の考察	現代社会の特質や課題に関する適切な主題を設定させ、資料を活用して探究し、その成果を論述したり討論したりするなどの活動を通して、世界の人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現について人文・社会科学の観点から展望できる。		3	
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	課題・レポート	合計
総合評価割合	60	0	0	10	0	30	100

基礎的能力	40	0	0	0	0	20	60
專門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	20	0	0	10	0	10	40